

指導事例

※ 該当する項目を囲み線で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	小学校・中学校	学 年	1・2・3・4・5・6年
指導場面	授業・学級活動・学校行事・学校生活・その他		
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・自閉症・情緒障害・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	体育・自立		
タイトル	なかよし体育		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	3種4学級18名の児童が一齐に体育の活動をする。児童の中には、離れたり、声の大きさを調節することが難しい児童もいたりするため、感染防止策をとりながら授業することが困難である。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	全体指導の時間を減らす。密集する時間を減らす。活動時間を確保する。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	チェックカードを作成し、視覚的に今日の課題を共有できるようにする。課題を複数設定することで、活動場所を分散させ、密集する機会を減らす。		

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

集団指導をする時間を減らすために、チェックカードを作成し課題を書いておく。字を読むことのできる児童にとっては、スムーズに理解することができるため、口頭での指導の時間を減らすことができる。

また課題を複数設定することで、活動場所を分け、密集を防ぐことができる。児童を分散させることにより、全体で指導するよりも少人数の児童をきめ細やかに指導することで、児童一人ひとりの課題をより詳細に把握することが可能になった。

それぞれの児童の課題を4人の教師がどのように共有するかについては、チェックカードを作成しているので、授業後に課題の進捗を一目で確認することができる。児童を分散させることにより生じる打ち合わせの時間を削減することも可能となる。



指導事例

※ 該当する項目を囲み線で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	小学校・中学校	学 年	全校生
指導場面	授業・学級活動・学校行事・学校生活・その他		
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・自閉症・情緒障害・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	学校再開時の全校生対象のテレビ朝会で		
タイトル	元気に過ごすためにわたしたちができること ～思いやりをもってコロナから守ろう～		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	言語理解、また、聴覚的な課題がある。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	視覚的教材を使い、パッと見てすぐ内容を理解できるものにする。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	パワーポイントを使い、コロナウイルスについて学び、予防行動がとれるように学習させる。		

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

保健室から、新型コロナウイルスの啓発や予防行動の学習のために、学校再開当日に、パワーポイントを使って、テレビ朝会の中で、全校生に説明を行った。パワーポイントは、イラストをメインとし、短い言葉で印象付け、頭にすんなり入るようなフレーズを入れた教材を作成した。言葉を付け加えた解説もしたが、たとえ、それが理解できなくても、画面に映る短いフレーズとイラストのみで、概要がつかめるようにした。

（内 容）

- ・ コロナウイルスとは何か
- ・ どうして今までの日常から変化したのか
- ・ 感染経路について
- ・ 予防方法について
- ・ 生活リズムについて
- ・ 最後に、今年は、熱中症にも気を付けることについて

【参考】

厚生労働省「新型コロナウイルスに関するQ & A」

文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル 学校の新しい生活様式」

岡山大学 知識流動システム研究所HP「新型コロナウイルスについて、考えよう」

藤田医科大学感染症科 小学生向けパワーポイント「コロナウイルスって何だろう？」